

平成29年度多面的機能支払交付金制度における意見交換会の概要

1. 開催要領

□目的

高齢化、担い手不足が深刻となり、厳しい条件化で取組を継続していくには、地域内の合意形成を確実に行う努力や、非農家や地域外の人材と協同して活動を行うなど、「地域のつながりを強化」していくことが必要である。

また、昨年度、8管内を対象に実践交流会を実施し、各支部より希望のあった、テーマ・意見交換会手法によるフリートークを行った結果、市町村単位等小規模での開催での意見交換を行いたいとの意見が挙がったが、今回、秋田県において、代表的な豪雪地帯であり、地域環境を保全する上で、厳しい環境の中、中山間直払における取組も踏まえて、積極的に多面的機能支払交付金の取組を行っている湯沢市を対象として選定した。

この「地域のつながり強化」の観点に立ち、小規模な参集範囲で、地域の意見を交換し合うことによって、活動組織が継続的に活動できるよう気づきやヒントを得る機会としての意見交換会を開催するものである。

□主催

秋田県、湯沢市、秋田県多面的機能支援協議会

□参集範囲

- ・湯沢市における多面的機能支払活動組織の役員
- ・県、市町村担当者（湯沢市、羽後町、東成瀬村）、協議会事務局

□内容

- ・取組紹介【羽後町、東成瀬村より】
- ・意見交換【テーマ①参加者を増やすグループづくり】
- ・意見交換【テーマ②女性が役員に】
- ・意見交換【テーマ③みんなが地域の担い手】
- ・広報の工夫について

2. 開催実績

日時	参加人数	会場名
2.13(火) 13:30～16:00	23名	湯沢市役所会議室

3. 内容

□取組紹介(羽後町)

広域活動組織である明治農地・水・環境保全組織について紹介。

- ・広域を推進した発端として、農業人口の減少により事務作業を含め保全会の活動を継続することが困難になりつつあったこと、各保全会において予算規模の大小により補修等の活動に格差が見られるようになってきたといった意見が出てきたことが挙げられる。
- ・土地改良区でも同一の工区であるため、維持管理との兼ね合いから一本化しやすかったということもあり、農地・水保全管理支払交付金に制度移行するタイミングに合わせて広域組織となった。従前の組織と役員会はそのままの形で残しながら、各組織から代表および会計を担当している役員が運営委員として選抜され現在運営されている。
- ・広域組織での方針は運営委員会によって決定され、各組織の担当役員が組織へ持ち帰り役員会を開催し周知することで全体の合意形成を図っている。また、広域化前の組織をそのまま残しているため、草刈りや泥上げといった基礎的な維持管理活動は、旧組織単位で行っている。
- ・多面的機能支払交付金に移行した後は、施設の長寿命化にも取り組んでおり、地域の悩みとなりつつあった揚水ポンプの老朽化に注目し、優先順位を決めて更新を行っている。広域化したため予算規模が拡大し、更新にかかる費用を捻出できるようになったことは大きなメリットだと考えている。
- ・農地維持の補修についても、保全会の区切りで止めざるを得なかった水路や農道の一体化した整備や、他組織で行っている補修を参考にしながら地元の活動に取り組むなど、保全会同士の横のつながりも見られるようになっている。

□取組紹介(東成瀬村)

- ・平成26年の多面的機能支払交付金制度スタートから15組織が取り組んでいる。うち10組織は農地維持、資源向上(共同)の2交付金に取り組んでいる。村全体で320ha、1,400万円の交付となる。
- ・村では「花いっぱい運動」を推進しているが、これに多面的機能支払制度を活用している。
- ・冬場も地域用水を利用しているため、地域の除雪などを行っている。
- ・本制度は地域のつながり強化につながっている。
- ・平成28年には、活動中、雪崩事故に巻き込まれた事故が発生している。安全に関しては村からも十分注意するよう指導している。

□意見交換 テーマ①参加者を増やすグループづくり

草刈り、植栽、体験農園、話し合い、若手後継者など、テーマ別、年代別の小グループを作ることで、非農家を含めた参加者の倍増に成功した活動組織についてのDVDを視聴し、意見交換を実施した。その中で挙げた意見は以下のとおり。

- ・集落、青年会、婦人会、PTA、流雪溝組合など既存の組織を1つにまとめる形で

広域活動組織が成り立っている。収穫祭など地域住民との交流イベントを行っているが、参加者増加に至っていない。また、ゴミの増加に悩んでいる。

- ・子供達へ農業体験させる体験農園（トウモロコシ）をやっている。平成29年度はたまたま休んだが、継続していききたい活動である。来年度は再開させる予定。関係者が楽しんで行える活動と思っている。
- ・農地中間管理事業を利用し、農地を貸し付けている人は草刈りに参加してくれない。DVDにあるような草刈り隊の結成を今後は検討していく必要があると考える。
- ・ゴミ対策として、不法投棄防止のパトロールを行っている地域がある。月に1回、2人で夕方暗くなってから行っている。啓発のための看板、のぼりを設置しているが効果は無いが現状。看板脇にゴミが捨てられていることもあった。今のところ成果は出ていない。
- ・パトロール隊は農地・水のスタート時に新規に立ち上げた。地域外からのゴミ持ち込み、不法投棄を何とかしようとして役員会で議題に上がった経緯がある。夕方からの活動なので見回りは役員に限られているのが現状である。

□意見交換 テーマ②女性が役員に

役員9人中、半数以上の5人が女性という活動組織。男性が中心の組織として存在し、一度組織が解散したが、女性が中心となる組織として生まれ変わり、女性ならではの視点で積極的に共同活動を行い、小学校や障害者施設との連携を行っている事例についてDVDを視聴し、意見交換を実施した。その中で挙げた意見は以下のとおり。

- ・数地区において、婦人会中心で植栽を行っている。活動の時期など、詳細は婦人会に一任している。
- ・農地・水の2期の際、ある地区では15人ほどの役員のうち3名を若い女性が担っていた。現在は交代している。やはり役員会が夜間中心で、活動が休みに集中すると、子供のいる若い女性の役員は難しいと思う。
- ・4集落の集合体。集落毎に行う活動と、全体でやる活動を区分している。花植え集落毎の活動となる。品種の選定、配置は女性主導で行う。植栽と同日に水路のクリーンアップも行っている。こうすると旦那も参加してくれるので、出席率が良くなる。集合写真も植栽班、水路清掃班合同で撮影し、これをカレンダーにして配布している。大人数の写真を見て「うちも負けてられん」と他の集落の刺激にもなっているようだ。
- ・平成19年から事務を担当している。現在は4地区を担当している。地域によっては老人クラブの女性が活躍している。若い女性が無理でも年配の女性役員は可能ではないだろうか。
- ・平成19年から女性19名で直売所を始めた。遊休地を有効的に活用していきたいと考えている。

□意見交換 テーマ③みんなが地域の担い手

4 ha、13戸の小規模組織の紹介。年交付金は20万円。稲作農家は1戸のみであとは地権者と非農家という構成だが、共同活動に積極的に取り組み、地域の美田を守る活動に力をいれている事例についてDVDを視聴した。これについては特に意見は挙がらなかった。小規模なコミュニティだからこそお互いが助け合う必要があるという考え方が組織に浸透しており、県内における小規模組織にも大変参考になる内容である。

□DVD 視聴 広報の工夫について

- ・フェイスブックの活用の事例。ほぼ経費0円で広報活動が可能。
- ・見やすい広報の工夫について紹介。文字より写真を多くしたり、紙面を大きくする工夫、行間を広くする工夫などを紹介。

□質疑応答

質問①

- ・各地区から冬期間の活動はどこまで可能か問い合わせが多く、困っている。流雪溝の除雪、雪の積もった街路樹の伐採、植栽した木の除雪など、どの範囲まで可能なのか教えて欲しい。

回答①

- ・秋田県多面的機能支払の実施に関する基本方針を参考に仕分けが必要である。ご質問の件、すべてが可能ではない。例えば、冬期間も農業用水を融雪の目的で使用しているなら、詰まりの解消は対象活動となる。街路樹を切るのは対象外である。基本的に、多面的機能支払交付金は、「農」に関する共同活動にしか支出できない。また、秋田県独自の活動要件でビニールハウスの倒壊防止のための除排雪も可能なので活用して欲しい。

質問②

- ・改良区に事務委託したところ、日当支払は振り込みとなった。このことが参加減となっている要因になっているのではないかと考えている。ぜひ現金払いにして欲しい。

回答②

- ・県、市では制限していない。改良区と相談して欲しい。

質問③

- ・父、母、息子と1戸で3人が活動に参加する場合、日当の支払は父の口座に3人分を一括振り込みしても良いか。

回答③

- ・かまわない。ただし、母、息子の承諾書が必要と考える。

□アンケートにおける意見

意見交換会実施後に、今回の意見交換会に参加した意見・感想を確認したところ以下の意見が挙がりました。

- ・カレンダー、ポスター等作りたいと思いました。
- ・地域の方々に周知徹底したい。
- ・なかなか順調な組織はないと思いますが地域のコミュニティーの結びつきをする為に、できることを少しずつしていく活動していくことが大切だと思った。
- ・今日の DVD を参考に活動していきたいと思います。
- ・テーマ数が多かったように思います。もう少し少なければ内容をもう少しブレイクダウン出来、出席者の生の本音の意見も出た様な気がしました。
- ・DVD 鑑賞の中で、グループの活動は大変良いアイデアと思いましたので今後、私達の組織も考えていきたいなあと考えています。今現在も子供会と共に水質検査等お願いして活動しておりますが、今後は田畑を利用して野菜作りも経験させたいと思っていますところです。
- ・女性が役員に。今後の活動の参考としたい。
- ・参加者を増やすグループづくりを参考にし今後の活動の活性化にしたい。
- ・色々な例があったりで、今後の参考にしたい。参加者の意見をもう少し入れてほしい。
- ・皆んなが地域の担い手。優秀な子供が県内に残る指導を。
- ・今回観た DVD の活動はどれもすばらしかった。
- ・全県分をまとめて全県会議等の場で発表してもらいたい。
- ・地域に対する説明がなかったため、今後協力を得るためにも自治会の総会等を利用してこの制度について説明したい。
- ・今後取組紹介される機会には今回の羽後町の紹介の様に文章で大体の状況を残してもらおうと地域の保全会の為に大変役立と思います。DVD 鑑賞は大変参考になった。
- ・湯沢、雄勝地域において活動内容に格差があるように思われます。
- ・女性の方の参加の仕方等、参考になりました。

□状況写真

